

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	利用者、家族等意見の反映は、職員会議や日常のミーティングなどで話し合い、またアクシデントや苦情の報告書に挙げ情報の共有に努めているが、外部者への相談等にまで発展に至らず内部での解決にとどまっている。	内部・外部との協同作業で、利用者、家族等に満足して頂けるような施設運営を目指す。	①運営推進会議に自治会長や市職員だけでなく民生委員の方にも参加を依頼し、利用者・家族等の意見の反映に努めたい。(3/27民生委員参加にて推進会議を行いました) ②介護相談員の活用	3ヶ月
2	40	利用者の食事の好みについては配慮し献立を立てているが、外食や店屋ものを取るなど食べる楽しみの支援が不足している。	食事を楽しむ支援は日常生活に生きがいをもたらす。外食支援を実行しQOLに繋げていく。	①外出支援の一貫として外食する計画を立て、実行につなげていく。外出が困難である場合は、店屋ものなどで食事の楽しみを味わっていただく。②おやつ作りなど一緒に調理する日を設ける。③家族等からの差し入れの継続。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。